

「日本の手わざ」



日本の文化を表出する： 空港の環境改善における試み

国の玄関口である空港。なかでも到着コンコースは降り立って初めて目にする空間である。

日本を代表する国際空港として歓迎の意を表し、日本の文化度を指し示す質の高い快適空間を提供することにより、ここから日本の美しさを感じ、関心を高めてもらえたらと、アートによる環境整備を実施した。

コンセプトは「日本の手わざ」

日本が誇れる細やかな手の技に着目し、漆・蒔絵といった工芸的なものから建築素材である竹・瓦・漆喰など、職人の「手わざ」が生きる素材を12点のアートワークとして展開。

自然とともに生き、自然の素材を生活のなかにとりこみながら、巧みな技と美意識で麗しい環境と文化を醸成してきた日本人の感性と意匠を、本物の素材をもって表現する。

アートワークが目指すもの

建築・美術などの諸領域を超えて日本の文化を支えてきた「手わざ」。その手わざが紡ぎだす繊細な表情と、本物の素材がもつ力強さが、言葉を越えて旅客の心に響き、外国人にとっては日本への期待感と関心を高め、日本人にとっては安堵感とともに日本を誇りに思うきっかけとなることを意図した。同時に、日本の美を再発見する指標となることを目指したものである。



プロジェクト概要

計画名 コース	成田国際空港第2旅客ターミナルビル サテライト 到着コン コース
計画主	アートワーク (改修工事)
建築設計	成田国際空港株式会社
施工	株式会社日建設計
アートディレクション	エアポートメンテナンスサービス株式会社
アートプロデュース	吉岡 幸雄
完成・公開日	株式会社タウンアート
	2008年4月22日